



学校教育目標 自ら学び 自ら考え 自ら行動する子を育てる

松林小だより



令和7年5月30日 第3号 茅ヶ崎市立松林小学校 校長 下反 達二

気づき

「最初の質問」

長田 弘

今日あなたは空をみあげましたか。
空は遠かったですか、近かったですか。
雲はどんな形をしていましたか。
風はどんなにおいがしましたか。
あなたにとって、いい一日とはどんな一日ですか。
「ありがとう」という言葉を今日は口にしましたか。

窓の向こう、道の向こうに、何が見えますか。
雨のしずくをいっぱいためたクモの巣を見ることがあります。
櫓の木の下で、あるいは櫓の木の下で、立ち止まったことがありますか。
街路樹の木の名前を知っていますか。
樹木を友人だと思ったことがありますか。

この前、川を見つめたのはいつでしたか。
砂の上に座ったのは、草の上に座ったのはいつでしたか。
「美しい」と、あなたがためらわず言えるものは何ですか。
好きな花を七つ、挙げられますか。
あなたにとって「わたしたち」というのは、だれですか。

夜明け前に鳴き交わす鳥の声を聴いたことがありますか。
ゆっくりと暮れていく西の空に祈ったことがありますか。
何歳の時の自分が好きですか。
上手に年を取ることができると思いますか。
世界という言葉で、まず思い描く風景はどんな風景ですか。

今あなたがいる場所で、耳を澄ますと、何が聞こえますか。
沈黙はどんな音がしますか。
じっと目をつぶる。すると何が見えてきますか。
問いと答えと、今あなたにとって必要なのはどちらですか。
これだけはしないと心に決めていることがありますか。

いちばんしたいことは何ですか。
人生の材料は何だと思えますか。
あなたにとって、あるいはあなたの知らない人々にとって、
幸福って何だと思えますか。

時代は言葉をないがしろにしている。
あなたは言葉を信じていますか。

少しずつ曇りや雨の日が多くなってまいりました。もうすぐ梅雨入りなのではないでしょうか。しとしと降る雨は木の葉を濡らし、土や木の渇きをいやしています。

時間があるときに、子どもたちの様子を見に教室に行きます。どのクラスも子どもたちと先生方が真剣に授業をされているので、せっかくの雰囲気をごわさないように心を掛けながら、でも面白そうなので、ついつい見入ったりしながら、まわっております。6年生の教室の前の方に「自分への気づき」という言葉がありました。単純なようで、とても深い言葉です。立ち止まって自分を見つめ直すことの大切さについて思いを巡らせました。

冒頭の長田弘さんの詩は、せわしく過ぎてゆく日々の中で私たちは大切なもの(本質的なもの)を見失っているのではないかと、ということに気づかせてくれる素敵な詩です。自分の在りようを考えると、とても参考になります。この中にきっと、読み手それぞれの心にじわじわと染みる「問い」があるのではないのでしょうか。自分の心が本当に求めているものは、AIにはきっと分からないでしょう。分かるのは他ならぬ自分自身です。皆様ならこれらの問いにどう答えますか。子どももそして大人も、たまには、自然にゆったり身を任せ自分と向き合ってみる時間があるとよいですね。

そして、さらに一歩進めて、自分の価値観と違う人とお互いに「幸福」にくらすために自分はどのようにするのでしょうか、考え行動にうつせるようになるといいと思います。先の6年生の教室掲示には「自分への気づき」と併せて「他者への気づき」についても書かれていました。さすがですね。

1年生を迎える会

6年生と1年生が手をつないで入場するととても温かい雰囲気から始まりました。途中には趣向を凝らしたクイズもあり、ゲームもあり、運営委員の司会進行のもと、とても楽しい会となりました。

1年生は2年生と3年生から、プレゼントをもらっていました。何をもらっていたのでしょうかね？



第1回代表委員会開催

先日、第1回の代表委員会が開催されました。松林小学校の児童のみんながよりよく過ごせるように学校を創っていくための大事な会です。3年から6年までのクラス代表の子どもたちが、真剣なまなざしで、話を聴く姿に感心しました。こういった場を生かして、子どもたちの主体性を育んでいきたいと思っています。

家庭訪問へのご協力ありがとうございました

引き続き、ご家庭地域の皆様との連携・対話を大切にしながら教育活動を進めてまいります。ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。